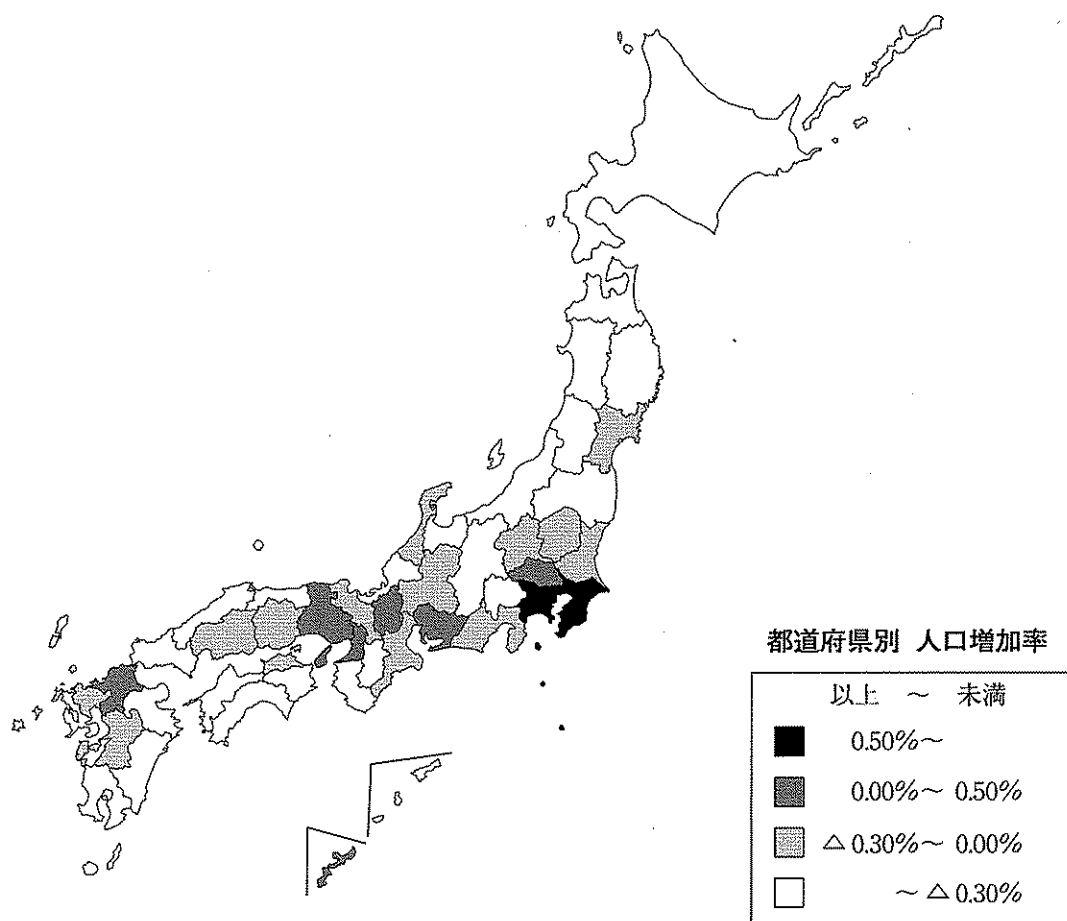


住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数
(平成21年3月31日現在)



この資料は、住民基本台帳法（昭和 42 年法律第 81 号）に基づき、平成 21 年 3 月 31 日現在の住民票に記載されている者の数（住民基本台帳人口）及び世帯数並びに平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日までの間の人口動態（住民票の記載及び消除の数）についてとりまとめたものである。

目 次

住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成 21 年 3 月 31 日現在）

	ページ
1 人口及び人口動態	… 1
(1) 全国の人口及び人口動態	… 1
(2) 都道府県別の人口及び人口動態	… 3
(3) 市部並びに町村部の人口及び人口動態	… 7
(4) 市町村別の人口	… 8
(5) 三大都市圏並びに地方圏の人口及び人口動態	… 9
2 年齢階級別人口	… 10
(1) 全国の年齢階級別人口	… 10
(2) 都道府県別の年齢階級別人口	… 12
3 世帯数	… 14

1 人口及び人口動態

(1) 全国の人口及び人口動態

○全国の人口は、1億 2,707 万 6,183 人で、2年連続の増加

平成21年3月31日現在の住民基本台帳に基づく全国の人口は、1億2,707万6,183人で、前年(1億2,706万6,178人)に比べ、1万5人増加し、2年連続で増加した(第1表参照)。

全国人口の男女別の内訳をみると、男性は6,210万5,515人で構成比は48.87%、女性は6,497万668人で構成比は51.13%となっている。

第1表 住民基本台帳人口の推移

区分	人口 人	対前年増加数 (A) 人	対前年増加率 %	(A) のうち 自然増加数 人	(A) のうち 社会増加数 人
昭和43年	101,988,020	642,733	0.63	—	—
44	102,747,274	759,254	0.74	—	—
45	103,521,912	774,638	0.75	—	—
46	104,539,680	1,017,768	0.98	—	—
47	105,854,519	1,314,839	1.26	—	—
48	(107,174,297)	(1,319,778)	(1.25)	—	—
	108,202,038	2,347,519	2.22	—	—
49	109,574,348	1,372,310	1.27	—	—
50	110,948,837	1,374,489	1.25	—	—
51	112,145,133	1,196,296	1.08	—	—
52	113,225,921	1,080,788	0.96	—	—
53	114,275,833	1,049,912	0.93	—	—
54	115,286,775	1,010,942	0.88	—	—
55	116,194,898	908,123	0.79	917,152	△ 9,029
56	117,009,002	814,104	0.70	840,025	△ 25,921
57	117,776,771	767,769	0.66	799,322	△ 31,553
58	118,601,534	824,763	0.70	796,671	28,092
59	119,316,468	714,934	0.60	773,436	△ 58,502
60	120,007,812	691,344	0.58	739,841	△ 48,497
61	120,720,542	712,730	0.59	661,007	51,723
62	121,371,798	651,256	0.54	631,374	19,882
63	121,874,240	502,442	0.41	568,380	△ 65,938
平成元年	122,335,313	461,073	0.38	517,711	△ 56,638
2	122,744,952	409,639	0.33	432,178	△ 22,539
3	123,156,678	411,726	0.34	401,225	10,501
4	123,587,297	430,619	0.35	389,620	40,999
5	123,957,458	370,161	0.30	333,266	36,895
6	124,322,801	365,343	0.29	334,353	30,990
7	124,655,498	332,697	0.27	323,067	9,630
8	124,914,373	258,875	0.21	295,656	△ 36,781
9	125,257,061	342,688	0.27	292,039	50,649
10	125,568,035	310,974	0.25	285,520	25,454
11	125,860,006	291,971	0.23	238,506	53,465
12	126,071,305	211,299	0.17	223,867	△ 12,568
13	126,284,805	213,500	0.17	237,518	△ 24,018
14	126,478,672	193,867	0.15	201,964	△ 8,097
15	126,688,364	209,692	0.17	143,541	66,151
16	126,824,166	135,802	0.11	118,052	17,750
17	126,869,397	45,231	0.04	52,980	△ 7749
(17)	(127,058,530)				
18	127,055,025	△ 3,505	△ 0.00	△ 6,748	3,243
19	127,053,471	△ 1,554	△ 0.00	10,743	△ 12,297
20	127,066,178	12,707	0.01	△ 29,119	41,826
21	127,076,183	10,005	0.01	△ 45,914	55,919

注1) 昭和48年以降は沖縄県の人口を含む。同年の()書きは、昭和47年に復帰した沖縄県の人口を除いた場合の数値である。

なお、人口動態の調査は昭和54年度以降行っている。

注2) 平成17年人口の()書きは、平成18年人口統計調査から転出者の取扱いを統一したことに伴い、同様の方法による数値を記載したものである。

○増加傾向にあった出生者数が再び減少に転じ、死亡者数は調査開始以来最高となる。

自然増加数(出生者数－死亡者数)は、人口動態の調査開始以来、平成17年度に初めてマイナスとなり、平成18年度はいったんプラス(1万743人)に回復したものの、平成19年度、平成20年度と引き続きマイナスとなった。

人口動態の推移をみると、自然増加数は、平成5年度、平成12年度及び平成18年度に前年度と比べわずかに増加したものの、全体としては減少傾向が続き、平成20年度も減少となった。

全国の出生者数は、平成17年度に過去最低(106万5,533人)を記録し、平成18年度(109万1,917人)及び平成19年度(109万6,465人)とやや増加傾向にあったが、平成20年度は再び減少(108万8,488人)した。

一方、死亡者数は、調査開始以来、増加傾向にあり、平成20年度は過去最高の113万4,402人となっている(第2表参照)。

第2表 人口増減の要因別内訳の推移

年度	自 然 増 加			社 会 増 加								
	出生者数 A	死亡者数 B	増加数 A－B	転入者数 C	転出者数 D	C－D E	その他 記載数F	その他 消除数G	F－G H	増加数 E＋H		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
昭和 54	1,624,659	707,507	917,152	7,545,932	7,525,069	20,863	339,155	369,047	△	29,892	△	9,029
55	1,550,802	710,777	840,025	7,161,479	7,143,497	17,982	316,047	359,950	△	43,903	△	25,921
56	1,518,881	719,559	799,322	7,043,814	7,027,600	16,214	312,513	360,280	△	47,767	△	31,553
57	1,513,627	716,956	796,671	6,936,307	6,903,132	33,175	313,943	319,026	△	5,083		28,092
58	1,506,739	733,303	773,436	6,714,826	6,752,944	△	38,118	319,772	△	20,384	△	58,502
59	1,468,467	728,626	739,841	6,586,072	6,603,584	△	17,512	364,439	△	30,985	△	48,497
60	1,419,066	758,059	661,007	6,660,507	6,615,001	45,506	337,050	330,833		6,217		51,723
61	1,372,017	740,643	631,374	6,608,825	6,588,828	19,997	308,827	308,942	△	115		19,882
62	1,331,266	762,886	568,380	6,620,386	6,644,767	△	24,381	284,432	△	41,557	△	65,938
63	1,303,147	785,436	517,711	6,575,576	6,617,376	△	41,800	195,588	△	14,838	△	56,638
平成元	1,241,160	808,982	432,178	6,575,273	6,603,969	△	28,696	137,360		6,157	△	22,539
2	1,215,241	814,016	401,225	6,525,839	6,527,846	△	2,007	139,461		12,508		10,501
3	1,226,559	836,939	389,620	6,598,755	6,585,587		13,168	141,531		27,831		40,999
4	1,210,365	877,099	333,266	6,545,540	6,537,682		7,858	124,747		29,037		36,895
5	1,197,862	863,509	334,353	6,652,360	6,668,494	△	16,134	119,955		72,831		30,990
6	1,238,853	915,786	323,067	6,731,479	6,753,229	△	21,750	96,814		65,434		9,630
7	1,182,216	886,560	295,656	6,563,701	6,628,993	△	65,292	103,843		75,332	△	36,781
8	1,208,578	916,539	292,039	6,764,149	6,719,387		44,762	95,183		89,296		50,649
9	1,198,595	913,075	285,520	6,483,423	6,492,673	△	9,250	105,192		70,488		25,454
10	1,206,956	968,450	238,506	6,376,432	6,349,485		26,947	108,508		81,990		53,465
11	1,187,357	963,490	223,867	6,310,266	6,345,405	△	35,139	105,373		82,802	△	12,568
12	1,180,565	943,047	237,518	6,192,348	6,237,331	△	44,983	105,568		84,603	△	24,018
13	1,171,320	969,356	201,964	6,153,581	6,180,132	△	26,551	98,405		79,951	△	8,097
14	1,151,507	1,007,966	143,541	6,186,158	6,127,679		58,479	106,297		98,625		66,151
15	1,129,239	1,011,187	118,052	6,081,511	6,086,710	△	5,199	113,206		90,257		17,750
16	1,104,062	1,051,082	52,980	5,863,688	5,889,437	△	25,749	105,323		87,323	△	7,749
17	1,065,533	1,072,281	△ 6,748	5,752,181	5,772,036	△	19,855	107,333		84,235		3,243
18	1,091,917	1,081,174	10,743	5,688,042	5,719,624	△	31,582	108,848		89,563	△	12,297
19	1,096,465	1,125,584	△ 29,119	5,627,314	5,604,537		22,777	97,597		78,548		41,826
20	1,088,488	1,134,402	△ 45,914	5,510,512	5,485,613		24,899	88,772		57,752		55,919

(2) 都道府県別の人口及び人口動態

○総人口の半分以上を、上位9団体で占める。

都道府県別の人口が多い上位5団体は、東京都(1,254万8,258人)、神奈川県(884万8,329人)、大阪府(867万6,622人)、愛知県(721万8,350人)、埼玉県(709万6,269人)の順となっている。

一方、人口が少ない団体は、鳥取県(59万8,485人)、島根県(72万7,793人)、高知県(77万7,080人)、徳島県(80万825人)、福井県(81万2,444人)の順となっている。

なお、人口が多い東京都、神奈川県、大阪府、愛知県、埼玉県、千葉県、兵庫県、北海道及び福岡県の上位9団体で、全国人口の半分以上(52.47%)を占めている。平成4年までは、上位10団体で全国人口の半分以上を占めていたが、平成5年からは上位9団体で全国人口の半分以上を占めるようになっている(第3表参照)。

第3表 平成21年住民基本台帳に基づく人口及び世帯数

都道府 県名	人 口					世 帯		
	平21年3月31日 人 口 数 A	平20年3月31日 人 口 数 B	増 加 数 A-B	増 加 率 $\frac{A-B}{B}$	前 年 増加率	平21年3月31日 世 帯 数 C	1 世帯平均 構成人員 A/C	前 年 1 世帯平均 構成人員
	人	人	人	%	%	世帯	人	人
北海道	5,543,556	5,571,770	△ 28,214	△ 0.51	△ 0.52	2,637,145	2.10	2.13
青 森	1,417,278	1,430,543	△ 13,265	△ 0.93	△ 1.04	567,780	2.50	2.53
岩 手	1,355,205	1,366,652	△ 11,447	△ 0.84	△ 0.80	500,973	2.71	2.74
宮 城	2,330,898	2,334,874	△ 3,976	△ 0.17	△ 0.24	899,364	2.59	2.62
秋 田	1,118,735	1,130,823	△ 12,088	△ 1.07	△ 1.14	417,941	2.68	2.71
山 形	1,185,100	1,194,071	△ 8,971	△ 0.75	△ 0.83	396,212	2.99	3.02
福 島	2,063,769	2,075,555	△ 11,786	△ 0.57	△ 0.66	745,762	2.77	2.80
茨 城	2,979,639	2,982,000	△ 2,361	△ 0.08	△ 0.14	1,107,164	2.69	2.73
栃 木	2,003,954	2,006,701	△ 2,747	△ 0.14	△ 0.02	747,665	2.68	2.71
群 馬	2,008,842	2,012,151	△ 3,309	△ 0.16	△ 0.20	759,967	2.64	2.67
埼 玉	7,096,269	7,067,336	28,933	0.41	0.36	2,870,345	2.47	2.50
千 葉	6,124,453	6,090,799	33,654	0.55	0.54	2,540,337	2.41	2.44
東 京	12,548,258	12,462,196	86,062	0.69	0.81	6,241,989	2.01	2.02
神 奈 川	8,848,329	8,798,289	50,040	0.57	0.66	3,887,348	2.28	2.30
新 潟	2,401,803	2,413,103	△ 11,300	△ 0.47	△ 0.52	843,516	2.85	2.88
富 山	1,101,637	1,106,340	△ 4,703	△ 0.43	△ 0.39	385,637	2.86	2.89
石 川	1,165,013	1,167,151	△ 2,138	△ 0.18	△ 0.18	440,424	2.65	2.68
福 井	812,444	815,344	△ 2,900	△ 0.36	△ 0.38	270,459	3.00	3.03
山 梨	867,122	871,481	△ 4,359	△ 0.50	△ 0.47	333,259	2.60	2.63
長 野	2,168,926	2,176,806	△ 7,880	△ 0.36	△ 0.36	809,650	2.68	2.70
岐 阜	2,089,413	2,095,484	△ 6,071	△ 0.29	△ 0.23	738,663	2.83	2.86
静 岡	3,773,694	3,775,400	△ 1,706	△ 0.05	△ 0.00	1,428,465	2.64	2.67
愛 知	7,218,350	7,185,744	32,606	0.45	0.56	2,862,859	2.52	2.55
三 重	1,854,050	1,856,282	△ 2,232	△ 0.12	△ 0.04	718,960	2.58	2.61
滋 賀	1,382,321	1,377,886	4,435	0.32	0.46	503,523	2.75	2.78
京 都	2,555,650	2,558,542	△ 2,892	△ 0.11	△ 0.15	1,106,903	2.31	2.33
大 阪	8,676,622	8,670,302	6,320	0.07	0.06	3,864,118	2.25	2.27
兵 庫	5,586,254	5,582,230	4,024	0.07	0.03	2,321,121	2.41	2.43
奈 良	1,414,970	1,419,626	△ 4,656	△ 0.33	△ 0.40	550,523	2.57	2.60
和 歌 山	1,038,729	1,045,973	△ 7,244	△ 0.69	△ 0.75	425,943	2.44	2.47
鳥 取	598,485	602,411	△ 3,926	△ 0.65	△ 0.71	225,096	2.66	2.69
島 根	727,793	733,123	△ 5,330	△ 0.73	△ 0.81	274,839	2.65	2.68
岡 山	1,943,864	1,948,250	△ 4,386	△ 0.23	△ 0.16	774,399	2.51	2.54
広 島	2,859,300	2,864,167	△ 4,867	△ 0.17	△ 0.11	1,217,486	2.35	2.37
山 口	1,471,715	1,479,840	△ 8,125	△ 0.55	△ 0.63	640,299	2.30	2.32
徳 島	800,825	805,951	△ 5,126	△ 0.64	△ 0.71	317,907	2.52	2.55
香 川	1,016,540	1,019,333	△ 2,793	△ 0.27	△ 0.37	407,972	2.49	2.52
愛 媛	1,464,307	1,471,510	△ 7,203	△ 0.49	△ 0.56	626,663	2.34	2.36
高 知	777,080	784,038	△ 6,958	△ 0.89	△ 1.06	347,669	2.24	2.26
福 岡	5,031,870	5,030,818	1,052	0.02	0.01	2,147,845	2.34	2.36
佐 賀	862,156	864,738	△ 2,582	△ 0.30	△ 0.44	307,581	2.80	2.83
長 崎	1,458,404	1,469,197	△ 10,793	△ 0.73	△ 0.87	607,465	2.40	2.42
熊 本	1,839,309	1,844,644	△ 5,335	△ 0.29	△ 0.40	724,636	2.54	2.57
大 分	1,211,042	1,215,388	△ 4,346	△ 0.36	△ 0.22	504,579	2.40	2.43
宮 崎	1,155,844	1,161,026	△ 5,182	△ 0.45	△ 0.56	496,743	2.33	2.35
鹿 児 島	1,728,554	1,739,075	△ 10,521	△ 0.60	△ 0.71	782,188	2.21	2.23
沖 縄	1,397,812	1,391,215	6,597	0.47	0.27	550,420	2.54	2.57
合 計	127,076,183	127,066,178	10,005	0.01	0.01	52,877,802	2.40	2.43

○10団体で人口増加、37団体で人口減少
○人口増加数が最も多いのは東京都

次に、都道府県別に人口増減の状況をみると、10団体（前年12団体）で人口が増加し、前年に比べ2団体減っている（栃木県及び静岡県が増加から減少に転じた）。対前年の人口増加数が最も多いのは、東京都（8万6,062人）で、次いで、神奈川県（5万40人）、以下、千葉県（3万3,654人）、愛知県（3万2,606人）、埼玉県（2万8,933人）、沖縄県（6,597人）、大阪府（6,320人）、滋賀県（4,435人）、兵庫県（4,024人）、福岡県（1,052人）の順となっている（第4表参照）。

一方、対前年の人口減少数が最も多いのは、北海道（△2万8,214人）で、次いで、青森県（△1万3,265人）、以下、秋田県（△1万2,088人）、福島県（△1万1,786人）、岩手県（△1万1,447人）、新潟県（△1万1,300人）、長崎県（△1万793人）、鹿児島県（△1万521人）、山形県（△8,971人）、山口県（△8,125人）の順で続いている（第5表参照）。

○人口増加率も東京都がトップ

人口増加率が最も高いのは、東京都（0.69%）で、次いで、神奈川県（0.57%）、以下、千葉県（0.55%）、沖縄県（0.47%）、愛知県（0.45%）の順で続いている（第4表参照）。

人口減少率が最も高いのは、秋田県（△1.07%）、次いで、青森県（△0.93%）、以下、高知県（△0.89%）、岩手県（△0.84%）、山形県（△0.75%）の順で続いている（第5表参照）。

第4表 人口が増加した都道府県

人 口 増 加 数											人 口 増 加 率				
順 位	都道府 県 名	人口増加 人	左 の 内 訳								順 位	都道府 県 名	人 口 増加率 %	前 年 度 (平成19年度)	
			自 然 増 加			社 会 増 加								都道府 県 名	人 口 増加率 %
			出生者数 A 人	死亡者数 B 人	増加数 A－B 人	転入者数 C 人	その他記 載数 D 人	転出者数 E 人	その他消 除数 F 人	増加数 C+D－(E+F) 人					
1	東京都	86,062 (100,460)	106,160	97,908	8,252	832,494	19,242	758,952	14,974	77,810	1	東京都	0.69	東京都	0.81
2	神奈川県	50,040 (57,264)	79,243	63,530	15,713	481,266	6,549	449,630	3,858	34,327	2	神奈川県	0.57	神奈川県	0.66
3	千葉県	33,654 (32,551)	52,374	47,185	5,189	313,147	3,830	286,041	2,471	28,465	3	千葉県	0.55	愛知県	0.56
4	愛知県	32,606 (40,130)	70,882	55,455	15,427	343,176	4,371	328,488	1,880	17,179	4	沖縄県	0.47	千葉県	0.54
5	埼玉県	28,933 (25,292)	60,275	51,778	8,497	332,878	6,754	313,571	5,625	20,436	5	愛知県	0.45	滋賀県	0.46
6	沖縄県	6,597 (3,697)	16,780	9,489	7,291	73,341	1,323	73,874	1,484	△ 694	6	埼玉県	0.41	埼玉県	0.36
7	大阪府	6,320 (5,197)	76,880	72,395	4,485	403,821	8,200	404,648	5,538	1,835	7	滋賀県	0.32	沖縄県	0.27
8	滋賀県	4,435 (6,309)	13,439	10,995	2,444	54,278	520	52,633	174	1,991	8	大阪府	0.07	大阪府	0.06
9	兵庫県	4,024 (1,733)	48,726	49,058	△ 332	215,561	3,294	213,510	989	4,356	9	兵庫県	0.07	兵庫県	0.03
10	福岡県	1,052 (507)	46,570	44,962	1,608	236,720	5,145	239,524	2,897	△ 556	10	福岡県	0.02	栃木県	0.02

注) () 書きは、平成19年度の数値である。

注) 大阪府の人口増加率は 0.07289%
兵庫県の人口増加率は 0.07208%

第5表 人口減少の大きい都道府県

人 口 増 加 数											人 口 増 加 率				
順 位	都道府 県 名	人口増加 人	左 の 内 社 会 増 加								前 年 度 (平成19年度) 都道府 県 名	人 口 増加率 %	人 口 増加率 %		
			自 然 増 加		増加数 A-B 人	転入者数 C 人	その他記 載数 D 人	転出者数 E 人	その他消 除数 F 人	増加数 C+D-(E+F) 人					
			出生者数 A 人	死亡者数 B 人											
1	北海道	△ 28,214 (△ 28,935)	40,936	52,879	△ 11,943	272,970	2,390	290,721	910	△ 16,271	1	秋田県	△ 1.07	秋田県	△ 1.14
2	青森県	△ 13,265 (△ 15,049)	10,096	15,259	△ 5,163	41,454	754	49,682	628	△ 8,102	2	青森県	△ 0.93	高知県	△ 1.06
3	秋田県	△ 12,088 (△ 13,006)	7,323	13,811	△ 6,488	26,255	527	32,117	265	△ 5,600	3	高知県	△ 0.89	青森県	△ 1.04
4	福島県	△ 11,786 (△ 13,884)	16,811	21,537	△ 4,726	58,721	917	66,190	508	△ 7,060	4	岩手県	△ 0.84	長崎県	△ 0.87
5	岩手県	△ 11,447 (△ 11,014)	10,182	15,248	△ 5,066	40,206	651	46,823	415	△ 6,381	5	山形県	△ 0.75	山形県	△ 0.83
6	新潟県	△ 11,300 (△ 12,580)	18,379	24,648	△ 6,269	53,218	199	58,263	185	△ 5,031	6	長崎県	△ 0.73	島根県	△ 0.81
7	長崎県	△ 10,793 (△ 12,949)	12,107	15,588	△ 3,481	51,742	603	59,319	338	△ 7,312	7	島根県	△ 0.73	岩手県	△ 0.80
8	鹿児島県	△ 10,521 (△ 12,435)	15,332	19,793	△ 4,461	71,425	981	77,817	649	△ 6,060	8	和歌山県	△ 0.69	和歌山県	△ 0.75
9	山形県	△ 8,971 (△ 10,028)	9,005	13,680	△ 4,675	32,066	420	36,459	323	△ 4,296	9	鳥取県	△ 0.65	鹿児島県	△ 0.71
10	山口県	△ 8,125 (△ 9,336)	11,601	16,927	△ 5,326	48,709	425	51,616	317	△ 2,799	10	徳島県	△ 0.64	鳥取県	△ 0.71

注) () 番きは、平成19年度の数値である。

注) 長崎県のH20年度人口増加率は △0.734%

注) () 書きは、平成19年度の数値である。

注) 長崎県のH20年度人口増加率は △0.734%
島根県のH20年度人口増加率は △0.727%

○自然増加数は神奈川県、自然増加率は沖縄県がそれぞれトップ
○10 団体で自然増加、37 団体で自然減少

人口が自然増加となっているのは、前年と同じく10団体である(兵庫県が増加から減少に、石川県が減少から増加にそれぞれ転じた。)。自然増加数が最も多いのは、21年連続して神奈川県(1万5,713人)で、次いで、愛知県(1万5,7427人)、以下、埼玉県(8,497人)、東京都(8,252人)、沖縄県(7,291人)の順に続いている。自然増加率では、沖縄県(0.52%)が人口動態の調査を始めた昭和54年度以降30年連続してトップであり、次いで、愛知県(0.21%)、以下、神奈川県(0.18%)、滋賀県(0.18%)、埼玉県(0.12%)の順に続いている(第6表参照)。

また、自然減少数が最も多いのは、北海道(△1万1,943人)で、次いで、秋田県(△6,488人)、以下、新潟県(△6,269人)、山口県(△5,326人)、青森県(△5,163人)の順で続いている。自然減少率が最も高いのは、秋田県(△0.57%)で、次いで、島根県(△0.45%)、以下、高知県(△0.45%)、山形県(△0.39%)、岩手県(△0.37%)の順で続いている(第7表参照)。

第6表 自然増加した都道府県

順位	自然増加数		自然増加率	
	都道府県名	人	都道府県名	%
1	神奈川県	15,713	沖縄県	0.52
2	愛知県	15,427	愛知県	0.21
3	埼玉県	8,497	神奈川県	0.18
4	東京都	8,252	滋賀県	0.18
5	沖縄県	7,291	埼玉県	0.12
6	千葉県	5,189	千葉県	0.09
7	大阪府	4,485	東京都	0.07
8	滋賀県	2,444	大阪府	0.05
9	福岡県	1,608	福岡県	0.03
10	石川県	252	石川県	0.02

注) 神奈川県の自然増加率は 0.178%
滋賀県の自然増加率は 0.177%

第7表 自然減少の大きい都道府県

順位	自然増加数		自然増加率	
	都道府県名	人	都道府県名	%
1	北海道	△ 11,943	秋田県	△ 0.57
2	秋田県	△ 6,488	島根県	△ 0.45
3	新潟県	△ 6,269	高知県	△ 0.45
4	山口県	△ 5,326	山形県	△ 0.39
5	青森県	△ 5,163	岩手県	△ 0.37
6	岩手県	△ 5,066	青森県	△ 0.36
7	福島県	△ 4,726	山口県	△ 0.36
8	山形県	△ 4,675	和歌山県	△ 0.36
9	鹿児島県	△ 4,461	徳島県	△ 0.35
10	長野県	△ 4,447	鳥取県	△ 0.29

注) 島根県の自然増加率は △0.4518%
高知県の自然増加率は △0.4502%
青森県の自然増加率は △0.3609%
山口県の自然増加率は △0.3599%
和歌山県の自然増加率は △0.3571%

○社会増加数、社会増加率ともに東京都がトップ

人口が社会増加となっているのは9団体（前年10団体）で、前年から1団体減っている（栃木県、三重県及び静岡県が増加から減少に転じ、大阪府及び茨城県が減少から増加に転じた）。

社会増加数（転入者等数－転出者等数）が最も多いのは、東京都（7万7,810人）で、次いで、神奈川県（3万4,327人）、以下、千葉県（2万8,465人）、埼玉県（2万436人）、愛知県（1万7,179人）の順で続いている。また、社会増加率が最も高いのも、東京都（0.62%）で、次いで、千葉県（0.47%）、以下、神奈川県（0.39%）、埼玉県（0.29%）、愛知県（0.24%）の順で続いている（第8表参照）。

なお、社会増加数は東京都が12年連続でトップとなり、社会増加率も10年連続東京都がトップとなっている。

一方、社会減少数が最も多いのは、北海道（△1万6,271人）で、次いで、青森県（△8,102人）、以下、長崎県（△7,312人）、福島県（△7,060人）、岩手県（△6,381人）の順で続いており、社会減少率が最も高いのは、青森県（△0.57%）で、次いで、長崎県（△0.50%）、以下、秋田県（△0.50%）、岩手県（△0.47%）、高知県（△0.44%）の順で続いている（第9表参照）。

第8表 社会増加した都道府県

順位	社会増加数		社会増加率	
	都道府県名	人	都道府県名	%
1	東京都	77,810	東京都	0.62
2	神奈川県	34,327	千葉県	0.47
3	千葉県	28,465	神奈川県	0.39
4	埼玉県	20,436	埼玉県	0.29
5	愛知県	17,179	愛知県	0.24
6	兵庫県	4,356	滋賀県	0.14
7	滋賀県	1,991	兵庫県	0.08
8	大阪府	1,835	大阪府	0.02
9	茨城県	554	茨城県	0.02

注) 大阪府の社会増加率は 0.02116%
茨城県の社会増加率は 0.01857%

第9表 社会減少の大きい都道府県

順位	社会増加数		社会増加率	
	都道府県名	人	都道府県名	%
1	北海道	△ 16,271	青森県	△ 0.57
2	青森県	△ 8,102	長崎県	△ 0.50
3	長崎県	△ 7,312	秋田県	△ 0.50
4	福島県	△ 7,060	岩手県	△ 0.47
5	岩手県	△ 6,381	高知県	△ 0.44
6	鹿児島県	△ 6,060	山形県	△ 0.36
7	秋田県	△ 5,600	鳥取県	△ 0.36
8	新潟県	△ 5,031	鹿児島県	△ 0.35
9	岐阜県	△ 4,399	福島県	△ 0.34
10	山形県	△ 4,296	和歌山県	△ 0.34

注) 長崎県の社会増加率は △0.49768%
秋田県の社会増加率は △0.49521%
山形県の社会増加率は △0.35977%
鳥取県の社会増加率は △0.35723%
福島県の社会増加率は △0.34014%
和歌山県の社会増加率は △0.33547%

(3)市部並びに町村部の人口及び人口動態

○市部人口は増加、町村部人口は減少

全国の人口を市部(特別区を含む。)と町村部に分けて、住民基本台帳制度が発足した後の増減状況をみると、市部人口は毎年増加し、平成21年は1億1,410万3,439人で、前年に比べ25万4,787人(0.22%)増加している。一方、町村部人口は平成8年以降毎年減少し、平成21年は1,297万2,744人で、24万4,782人(△1.85%)の減少となった(第10表参照)。

なお、平成20年度における市制施行及び合併により、町村部から市部へ移動した人口は、16万4,406人である(第11表参照)。

第10表 市部及び町村部の人口

区分	市部人口 (人)	町村部人口 (人)	計 (人)	構成比(%)		対前年増加率(%)		
				市部人口	町村部人口	市部	町村部	計
昭和43年	71,089,930	30,898,090	101,988,020	69.7	30.3	—	—	—
44	72,453,354	30,293,920	102,747,274	70.5	29.5	1.92	△ 1.96	0.74
45	73,404,528	30,117,384	103,521,912	70.9	29.1	1.31	△ 0.58	0.75
46	75,880,610	28,659,070	104,539,680	72.6	27.4	3.37	△ 4.84	0.98
47	78,031,379	27,823,140	105,854,519	73.7	26.3	2.83	△ 2.92	1.26
48	80,933,326	27,268,712	108,202,038	74.8	25.2	3.72	△ 1.99	2.22
49	82,196,848	27,377,500	109,574,348	75.0	25.0	1.56	△ 0.40	1.27
50	83,589,735	27,359,102	110,948,837	75.3	24.7	1.69	△ 0.07	1.25
51	84,633,741	27,511,392	112,145,133	75.5	24.5	1.25	△ 0.56	1.08
52	85,576,938	27,648,983	113,225,921	75.6	24.4	1.11	△ 0.50	0.96
53	86,479,901	27,795,932	114,275,833	75.7	24.3	1.06	△ 0.53	0.93
54	87,334,344	27,952,431	115,286,775	75.8	24.2	0.99	△ 0.56	0.88
55	88,037,472	28,157,426	116,194,898	75.8	24.2	0.81	△ 0.73	0.79
56	88,681,429	28,327,573	117,009,002	75.8	24.2	0.73	△ 0.60	0.70
57	89,504,024	28,272,747	117,776,771	76.0	24.0	0.93	△ 0.19	0.66
58	90,304,699	28,296,835	118,601,534	76.1	23.9	0.89	△ 0.09	0.70
59	90,933,637	28,382,831	119,316,468	76.2	23.8	0.70	△ 0.30	0.60
60	91,641,331	28,366,481	120,007,812	76.4	23.6	0.78	△ 0.06	0.58
61	92,285,296	28,435,246	120,720,542	76.4	23.6	0.70	△ 0.24	0.59
62	92,975,987	28,395,811	121,371,798	76.6	23.4	0.75	△ 0.14	0.54
63	93,638,084	28,236,156	121,874,240	76.8	23.2	0.71	△ 0.56	0.41
平成元年	94,099,927	28,235,386	122,335,313	76.9	23.1	0.49	△ 0.00	0.38
2	94,473,519	28,271,433	122,744,952	77.0	23.0	0.40	△ 0.13	0.33
3	94,873,914	28,282,764	123,156,678	77.0	23.0	0.42	△ 0.04	0.34
4	95,633,776	27,953,521	123,587,297	77.4	22.6	0.80	△ 1.16	0.35
5	96,105,833	27,851,625	123,957,458	77.5	22.5	0.49	△ 0.36	0.30
6	96,407,385	27,915,416	124,322,801	77.5	22.5	0.31	△ 0.23	0.29
7	96,704,200	27,951,298	124,655,498	77.6	22.4	0.31	△ 0.13	0.27
8	97,018,815	27,895,558	124,914,373	77.7	22.3	0.33	△ 0.20	0.21
9	97,561,828	27,695,233	125,257,061	77.9	22.1	0.56	△ 0.72	0.27
10	97,983,777	27,584,258	125,568,035	78.0	22.0	0.43	△ 0.40	0.25
11	98,305,196	27,554,810	125,860,006	78.1	21.9	0.33	△ 0.11	0.23
12	98,605,679	27,465,626	126,071,305	78.2	21.8	0.31	△ 0.32	0.17
13	98,901,808	27,382,997	126,284,805	78.3	21.7	0.30	△ 0.30	0.17
14	99,376,239	27,102,433	126,478,672	78.6	21.4	0.48	△ 1.02	0.15
15	99,893,294	26,795,070	126,688,364	78.8	21.2	0.52	△ 1.13	0.17
16	100,923,835	25,900,331	126,824,166	79.6	20.4	1.03	△ 3.34	0.11
17	106,016,270	20,853,127	126,869,397	83.6	16.4	5.05	△ 19.49	0.04
(17)	(106,174,770)	(20,883,760)	(127,058,530)	(83.6)	(16.4)			
18	113,167,015	13,888,010	127,055,025	89.1	10.9	6.59	△ 33.50	△ 0.00
19	113,622,428	13,431,043	127,053,471	89.4	10.6	0.40	△ 3.29	△ 0.00
20	113,848,652	13,217,526	127,066,178	89.6	10.4	0.20	△ 1.59	0.01
21	114,103,439	12,972,744	127,076,183	89.8	10.2	0.22	△ 1.85	0.01

注)平成17年人口の()書きは、平成18年人口統計調査から転出者の取扱いを統一したことに伴い、同様の方法による数値を記載したものである。

第11表 市部及び町村部の人口動態

区分	市 部		町 村 部	
	市 部	町 村 部	市 部	町 村 部
平成20年3月31日現在人口 (A)	113,848,652 人	13,217,526 人		
平成20年度に市制施行及び編入合併により 町村部から市部へ移動した人口 (B)	164,406 人	△ 164,406 人		
自然増加数 (C)	△ 3,247 人	△ 42,667 人		
自然増加率 (C) / { (A) + (B) }	△ 0.00 %	△ 0.33 %		
社会増加数 (D)	93,628 人	△ 37,709 人		
社会増加率 (D) / { (A) + (B) }	0.08 %	△ 0.29 %		
増加人口 (B) + (C) + (D) = (F)	254,787 人	△ 244,782 人		
[(C) + (D) = (E)]	[90,381]	[△ 80,376]		
増加率 (F) / (A)	0.22 %	△ 1.85 %		
[(E) / { (A) + (B) }]	[0.08]	[△ 0.62]		
平成21年3月31日現在人口 (A) + (F)	114,103,439 人	12,972,744 人		

(4)市町村別の人口

○100万人都市は、11市(横浜市、大阪市、名古屋市、札幌市、神戸市、京都市、福岡市、川崎市、さいたま市、広島市及び仙台市)

市の中で最も人口が多いのは、横浜市(360万5,951人)で、次いで、大阪市(252万5,153人)、名古屋市(217万3,945人)の順で続いている。

2万人未満の市は12市で、少ない方から歌志内市(4,759人)、三笠市(1万1,015人)、夕張市(1万1,633人)の順で続いている。

5万人超の町村は4町村で、愛知県三好町(5万5,622人)、岩手県滝沢村(5万3,048人)、広島県府中町(5万1,019人)及び千葉県大網白里町(5万425人)となっている。

500人未満の町村は7村で、少ない方から東京都青ヶ島村(157人)、東京都利島村(284人)、東京都御蔵島村(294人)の順で続いている(第12表参照)。

第12表 人口の多い市町村、人口の少ない市町村

人口の多い市			人口の少ない市		
順位	市 名	人口(人)	順位	市 名	人口(人)
1	横浜市 (神奈川県)	3,605,951	1	歌志内市 (北海道)	4,759
2	大阪市 (大阪府)	2,525,153	2	三笠市 (北海道)	11,015
3	名古屋市 (愛知県)	2,173,945	3	夕張市 (北海道)	11,633
4	札幌市 (北海道)	1,884,939	4	赤平市 (北海道)	13,258
5	神戸市 (兵庫県)	1,508,200	5	土佐清水市 (高知県)	16,940
6	京都市 (京都府)	1,386,899	6	室戸市 (高知県)	17,007
7	福岡市 (福岡県)	1,384,820	7	西之表市 (鹿児島県)	17,133
8	川崎市 (神奈川県)	1,359,063	8	芦別市 (北海道)	17,610
9	さいたま市 (埼玉県)	1,198,996	9	珠洲市 (石川県)	17,921
10	広島市 (広島県)	1,153,579	10	垂水市 (鹿児島県)	18,116
11	仙台市 (宮城県)	1,006,522	11	砂川市 (北海道)	19,349
12	北九州市 (福岡県)	981,016	12	尾花沢市 (山形県)	19,910
13	千葉市 (千葉県)	925,951	13	安芸市 (高知県)	20,135
14	堺市 (大阪府)	835,492	14	熊野市 (三重県)	20,465
15	新潟市 (新潟県)	803,273	15	宮津市 (京都府)	21,013
16	浜松市 (静岡県)	792,104	16	勝浦市 (千葉県)	21,105
17	静岡市 (静岡県)	718,623	17	津久見市 (大分県)	21,267
18	相模原市 (神奈川県)	694,752	18	尾鷲市 (三重県)	21,616
19	岡山市 (岡山県)	687,136	19	串間市 (宮崎県)	21,700
20	熊本市 (熊本県)	672,422	20	多久市 (佐賀県)	22,356

注) 特別区(東京都)の人口は、8,476,919人。

人口の多い町村			人口の少ない町村		
順位	町 村 名	人口(人)	順位	町 村 名	人口(人)
1	三好町 (愛知県)	55,622	1	青ヶ島村 (東京都)	157
2	滝沢村 (岩手県)	53,048	2	利島村 (東京都)	284
3	府中町 (広島県)	51,019	3	御蔵島村 (東京都)	294
4	大網白里町 (千葉県)	50,425	4	栗島浦村 (新潟県)	360
5	白岡町 (埼玉県)	49,759	5	三島村 (鹿児島県)	368
6	那珂川町 (福岡県)	49,322	6	渡名喜村 (沖縄県)	424
7	東浦町 (愛知県)	48,654	7	大川村 (高知県)	473
8	寒川町 (神奈川県)	47,569	8	北山村 (和歌山県)	506
9	長久手町 (愛知県)	47,253	9	北大東村 (沖縄県)	510
10	杉戸町 (埼玉県)	47,206	10	平谷村 (長野県)	539
11	阿見町 (茨城県)	46,781	11	野迫川村 (奈良県)	550
12	富谷町 (宮城県)	46,162	12	十島村 (鹿児島県)	614
13	始良町 (鹿児島県)	45,679	13	檜枝岐村 (福島県)	618
14	野々市町 (石川県)	45,239	14	壳木村 (長野県)	653
15	音更町 (北海道)	45,005	15	知夫村 (島根県)	663
16	熊取町 (大阪府)	44,419	16	上北山村 (奈良県)	708
17	志免町 (福岡県)	42,772	17	渡嘉敷村 (沖縄県)	716
18	長与町 (長崎県)	42,364	18	丹波山村 (山梨県)	739
19	武豊町 (愛知県)	41,482	19	栗国村 (沖縄県)	834
20	伊奈町 (埼玉県)	41,334	20	小菅村 (山梨県)	872

(5)三大都市圏並びに地方圏の人口及び人口動態

- 三大都市圏の人口が、3年連続で全国人口の半数を上回る。
- 東京圏、名古屋圏は引き続き増加、関西圏は減少から増加に転じる。

三大都市圏(東京圏、名古屋圏及び関西圏)の人口は6,401万2,618人で、全国人口の50.37%(前年50.20%)となり、3年連続して50%を超えた。内訳は、東京圏(埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県)が27.24%(前年27.09%)、名古屋圏(岐阜県、愛知県及び三重県)が8.78%(前年8.77%)及び関西圏(京都府、大阪府、兵庫県及び奈良県)が14.35%(前年14.35%)となっている。一方、地方圏の人口は6,306万3,565人で、全国人口の49.63%(前年49.80%)となっている。

三大都市圏の人口動態をみると、東京圏及び名古屋圏の人口は引き続き増加しており、関西圏は近年減少傾向にあったが、平成21年はわずかに増加している(第13表参照)。

第13表 三大都市圏及び地方圏の人口の推移

圏域	区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
東京圏	総人口 人	33,475,880	33,664,173	33,823,390 (33,862,870)	34,022,326	34,203,053	34,418,620	34,617,309
	増加人口 人	208,326	188,293	159,217	159,456	180,727	215,567	198,689
	増加率 %	0.63	0.56	0.47	0.47	0.53	0.63	0.58
	全国人口に占める割合%	26.42	26.54	26.66	26.78	26.92	27.09	27.24
名古屋圏	総人口 人	10,965,326	10,992,189	11,027,081 (11,041,093)	11,069,052	11,103,117	11,137,510	11,161,813
	増加人口 人	33,410	26,863	32,838	27,959	34,065	34,393	24,303
	増加率 %	0.31	0.24	0.30	0.25	0.31	0.31	0.22
	全国人口に占める割合%	8.66	8.67	8.69	8.71	8.74	8.77	8.78
関西圏	総人口 人	18,210,643	18,223,007	18,222,167 (18,240,540)	18,237,289	18,233,192	18,230,700	18,233,496
	増加人口 人	15,155	12,364	△ 840	△ 3,251	△ 4,097	△ 2,492	△ 2,796
	増加率 %	0.08	0.07	△ 0.00	△ 0.02	△ 0.02	△ 0.01	△ 0.02
	全国人口に占める割合%	14.37	14.37	14.36	14.35	14.35	14.35	14.35
三大都市圏合計	総人口 人	62,651,849	62,879,369	63,072,638 (63,144,503)	63,328,667	63,539,362	63,786,830	64,012,618
	増加人口 人	256,891	227,520	191,215	184,164	210,695	247,468	225,788
	増加率 %	0.41	0.36	0.30	0.29	0.33	0.39	0.35
	全国人口に占める割合%	49.45	49.58	49.71	49.84	50.01	50.20	50.37
地方圏	総人口 人	64,036,515	63,944,797	63,796,759 (63,914,027)	63,726,358	63,514,109	63,279,348	63,063,565
	増加人口 人	△ 47,199	△ 91,718	△ 145,984	△ 187,669	△ 212,249	△ 234,761	△ 215,783
	増加率 %	△ 0.07	△ 0.14	△ 0.23	△ 0.29	△ 0.33	△ 0.37	△ 0.34
	全国人口に占める割合%	50.55	50.42	50.29	50.16	49.99	49.80	49.63
全国計	総人口 人	126,688,364	126,824,166	126,869,397 (127,058,530)	127,055,025	127,053,471	127,066,178	127,076,183
	増加人口 人	209,692	135,802	45,231	△ 3,505	△ 1,554	12,707	10,005
	増加率 %	0.17	0.11	0.04	△ 0.00	△ 0.00	0.01	0.01
	全国人口に占める割合%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

注1) 地域区分は次のとおりである。

三大都市圏 東京圏……埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

名古屋圏……岐阜県、愛知県、三重県

関西圏……京都府、大阪府、兵庫県、奈良県

地方圏……三大都市圏を除く地域

※三大都市圏の定義は、「国土利用計画(全体計画)」の考え方による。

注2) 平成17年人口の()書きは、平成18年人口統計調査から転出者の取扱いを統一したことに伴い、同様の方法による数値を記載したものである。

参考) 関西圏に滋賀県を加えた場合の人口の推移

区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
総人口 人	19,558,884	19,576,900	19,581,440	19,602,682	19,604,769	19,608,586	19,615,817
増加人口 人	21,991	18,016	4,540	1,590	2,087	3,817	7,231
増加率 %	0.11	0.09	0.02	0.01	0.01	0.02	0.04
全国人口に占める割合%	15.44	15.44	15.43	15.43	15.43	15.43	15.44

2 年齢階級別人口

(1) 全国の年齢階級別人口

○全人口に占める年少・生産年齢人口の割合は、調査開始(平成6年～)以来毎年減少し、老年人口の割合は毎年増加

全国人口を年少人口(15歳未満)、生産年齢人口(15歳以上65歳未満)及び老年人口(65歳以上)の3区分に分けてみると、第14表のとおりであり、年少人口及び生産年齢人口の割合は、調査開始以来毎年減少し、老年人口の割合は毎年増加している(第15表参照)。

第14表 全国年齢3区分別人口

年 齢 区 分	人 口	構 成 比
	(人)	(%)
年 少 人 口 (0～14)	17,205,567	13.54
生 産 年 齢 人 口 (15～64)	81,650,386	64.25
老 年 人 口 (65～)	28,220,227	22.21

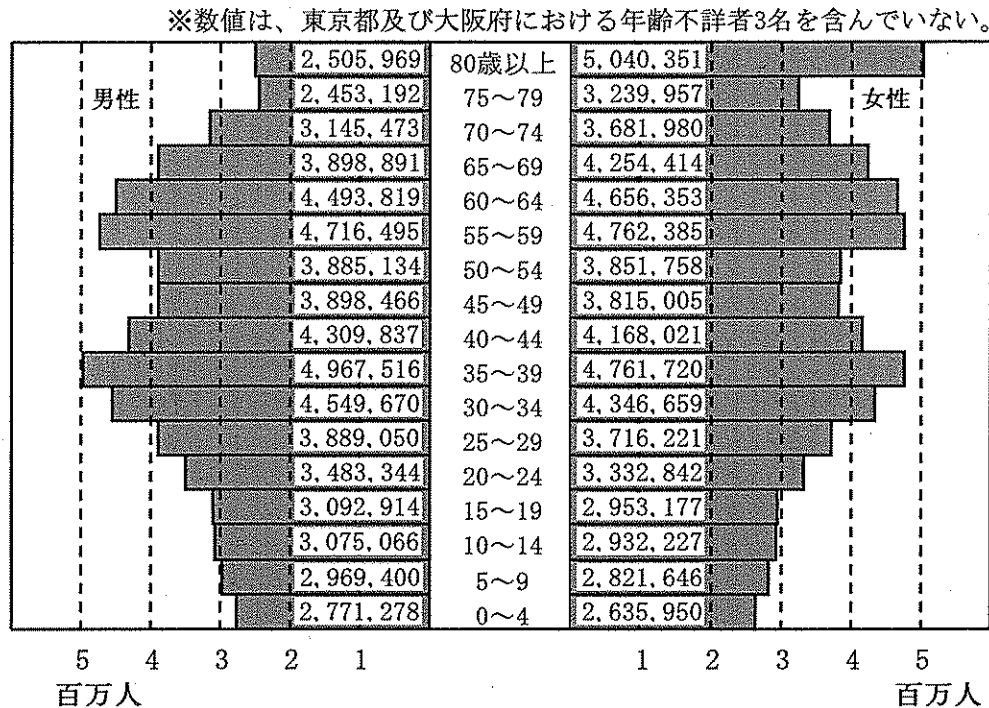
※数値は、東京都及び大阪府における年齢不詳者3名を含んでいない。

第15表 年齢3区分別人口の推移

区 分	年少人口 (0歳～14歳)		生産年齢人口 (15歳～64歳)		老年人口 (65歳～)	
	人口 (人)	構成比 (%)	人口 (人)	構成比 (%)	人口 (人)	構成比 (%)
平成6年	20,485,442	16.48	86,598,018	69.65	17,239,327	13.87
7	20,093,036	16.12	86,649,448	69.51	17,913,004	14.37
8	19,714,150	15.78	86,582,907	69.31	18,617,298	14.90
9	19,425,387	15.51	86,498,427	69.06	19,333,231	15.43
10	19,119,187	15.23	86,324,563	68.75	20,124,226	16.03
11	18,834,705	14.96	86,218,016	68.50	20,807,262	16.53
12	18,553,275	14.72	85,995,230	68.21	21,522,783	17.07
13	18,315,957	14.50	85,625,823	67.80	22,343,007	17.69
14	18,119,254	14.33	85,276,195	67.42	23,083,204	18.25
15	17,956,209	14.17	84,883,351	67.00	23,848,786	18.82
16	17,789,885	14.03	84,631,007	66.73	24,403,257	19.24
17	17,651,202	13.91	84,197,124	66.37	25,021,054	19.72
18	17,533,066	13.80	83,729,754	65.90	25,792,190	20.30
19	17,402,456	13.70	82,975,838	65.31	26,675,163	21.00
20	17,302,784	13.62	82,351,921	64.81	27,411,466	21.57
21	17,205,567	13.54	81,650,386	64.25	28,220,227	22.21

人口を年齢階級別(5歳階級)にみると、人口の最も多い年齢階級は35～39歳(972万9,236人、全国人口の7.66%)、次いで、55～59歳(947万8,880人、全国人口の7.46%)、60～64歳(915万172人、全国人口の7.20%)の順となっており、40歳以上の人口で全国人口の過半数(7,077万7,500人、55.70%、前年は7,001万5,234人、55.10%)を占めている(第1図参照)。

第1図 全国の年齢(5歳階級)別人口



年齢階級別に男女の人口の構成比をみると、50～54歳の階級までは、男性の構成比の方が女性の構成比より大きいですが、55～59歳から上の階級では、逆転して女性の構成比の方が男性の構成比を上回っている(第16表参照)。

第16表 年齢5歳階級別男女構成比(%)

年 齢 (歳)	男性 (%)	女性 (%)
0～4	51.25	48.75
5～9	51.28	48.72
10～14	51.19	48.81
15～19	51.16	48.84
20～24	51.10	48.90
25～29	51.14	48.86
30～34	51.14	48.86
35～39	51.06	48.94
40～44	50.84	49.16

年 齢 (歳)	男性 (%)	女性 (%)
45～49	50.54	49.46
50～54	50.22	49.78
55～59	49.76	50.24
60～64	49.11	50.89
65～69	47.82	52.18
70～74	46.07	53.93
75～79	43.09	56.91
80～	33.21	66.79

(2) 都道府県別の年齢階級別人口

都道府県別の人口を年齢3区分別にみると、人口に占める年少人口の割合が最も大きいのは、沖縄県(18.04%)で、次いで、滋賀県(15.32%)、愛知県(14.76%)の順で続いており、逆に、年少人口の割合が最も小さいのは、秋田県(11.70%)で、次いで、東京都(11.83%)、北海道(12.28%)の順で続いている(第17表・第20表参照)。

第17表 年少人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県

年少人口の割合が大きい都道府県			年少人口の割合が小さい都道府県		
順位	都道府県	割合 (%)	順位	都道府県	割合 (%)
1	沖縄県	18.04	1	秋田県	11.70
2	滋賀県	15.32	2	東京都	11.83
3	愛知県	14.76	3	北海道	12.28
4	佐賀県	14.72	4	高知県	12.44
5	福井県	14.33	5	徳島県	12.66
6	岐阜県	14.16	6	山口県	12.89
7	宮崎県	14.16	7	青森県	12.97
8	兵庫県	14.01	8	新潟県	13.00
9	福島県	14.00	9	岩手県	13.02
10	岡山県	13.99	10	和歌山県	13.05

注) 岐阜県の割合は14.1621%
宮崎県の割合は14.1590%

人口に占める生産年齢人口の割合が最も大きいのは、東京都(68.10%)で、次いで、神奈川県(67.01%)、埼玉県(66.90%)の順で続いており、逆に、生産年齢人口の割合が最も小さいのは、島根県(58.46%)で、次いで秋田県(59.64%)、高知県(59.90%)の順で続いている(第18表・第20表参照)。

第18表 生産年齢人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県

生産年齢人口の割合が大きい都道府県			生産年齢人口の割合が小さい都道府県		
順位	都道府県	割合 (%)	順位	都道府県	割合 (%)
1	東京都	68.10	1	島根県	58.46
2	神奈川県	67.01	2	秋田県	59.64
3	埼玉県	66.90	3	高知県	59.90
4	千葉県	66.34	4	山形県	59.94
5	愛知県	65.58	5	山口県	60.09
6	沖縄県	65.01	6	鹿児島県	60.13
7	大阪府	64.93	7	長野県	60.32
8	栃木県	64.90	8	岩手県	60.57
9	宮城県	64.68	9	宮崎県	60.89
10	茨城県	64.66	10	大分県	60.98

人口に占める老年人口の割合が最も大きいのは、秋田県(28.66%)で、次いで、島根県(28.46%)、高知県(27.66%)の順で続いており、逆に、老年人口の割合が最も小さいのは、沖縄県(16.95%)で、次いで、埼玉県(19.36%)、神奈川県(19.44%)の順で続いている(第19表・第20表参照)。

第19表 老年人口の割合が大きい都道府県、小さい都道府県

老年人口の割合が大きい都道府県			老年人口の割合が小さい都道府県		
順位	都道府県	割合 (%)	順位	都道府県	割合 (%)
1	秋田県	28.66	1	沖縄県	16.95
2	島根県	28.46	2	埼玉県	19.36
3	高知県	27.66	3	神奈川県	19.44
4	山口県	27.01	4	愛知県	19.65
5	山形県	26.95	5	東京都	20.07
6	岩手県	26.41	6	滋賀県	20.10
7	鹿児島県	26.00	7	千葉県	20.18
8	和歌山県	25.88	8	大阪府	21.24
9	徳島県	25.81	9	栃木県	21.33
10	大分県	25.75	10	福岡県	21.49

第20表 都道府県別の年齢3区分別人口

都道府県名	年少人口 人	構成比 %	生産年齢人口 人	構成比 %	老年人口 人	構成比 %	合 計 人
北海道	680,549	12.28	3,547,564	63.99	1,315,443	23.73	5,543,556
青森県	183,822	12.97	883,656	62.35	349,800	24.68	1,417,278
岩手県	176,490	13.02	820,854	60.57	357,861	26.41	1,355,205
宮城県	315,170	13.52	1,507,592	64.68	508,136	21.80	2,330,898
秋田県	130,885	11.70	667,236	59.64	320,614	28.66	1,118,735
山形県	155,447	13.12	710,300	59.94	319,353	26.95	1,185,100
福島県	289,009	14.00	1,276,436	61.85	498,324	24.15	2,063,769
茨城県	410,039	13.76	1,926,522	64.66	643,078	21.58	2,979,639
栃木県	276,019	13.77	1,300,582	64.90	427,353	21.33	2,003,954
群馬県	280,527	13.96	1,270,475	63.24	457,840	22.79	2,008,842
埼玉県	974,760	13.74	4,747,681	66.90	1,373,828	19.36	7,096,269
千葉県	825,403	13.48	4,063,265	66.34	1,235,785	20.18	6,124,453
東京都	1,484,023	11.83	8,545,965	68.10	2,518,268	20.07	12,548,256
神奈川県	1,199,493	13.56	5,929,128	67.01	1,719,708	19.44	8,848,329
新潟県	312,152	13.00	1,475,327	61.43	614,324	25.58	2,401,803
富山県	145,478	13.21	677,700	61.52	278,459	25.28	1,101,637
石川県	163,001	13.99	734,062	63.01	267,950	23.00	1,165,013
福井県	116,417	14.33	499,645	61.50	196,382	24.17	812,444
山梨県	119,441	13.77	539,017	62.16	208,664	24.06	867,122
長野県	302,721	13.96	1,308,304	60.32	557,901	25.72	2,168,926
岐阜県	295,905	14.16	1,307,499	62.58	486,009	23.26	2,089,413
静岡県	518,432	13.74	2,390,383	63.34	864,879	22.92	3,773,694
愛知県	1,065,498	14.76	4,734,125	65.58	1,418,727	19.65	7,218,350
三重県	257,232	13.87	1,160,403	62.59	436,415	23.54	1,854,050
滋賀県	211,706	15.32	892,738	64.58	277,877	20.10	1,382,321
京都府	341,000	13.34	1,631,571	63.84	583,079	22.82	2,555,650
大阪府	1,200,307	13.83	5,633,321	64.93	1,842,993	21.24	8,676,621
兵庫県	782,845	14.01	3,579,315	64.07	1,224,094	21.91	5,586,254
奈良県	190,511	13.46	902,563	63.79	321,896	22.75	1,414,970
和歌山県	135,549	13.05	634,309	61.07	268,871	25.88	1,038,729
鳥取県	80,737	13.49	365,786	61.12	151,962	25.39	598,485
島根県	95,152	13.07	425,488	58.46	207,153	28.46	727,793
岡山県	271,980	13.99	1,200,349	61.75	471,535	24.26	1,943,864
広島県	397,320	13.90	1,806,865	63.19	655,115	22.91	2,859,300
山口県	189,747	12.89	884,421	60.09	397,547	27.01	1,471,715
徳島県	101,380	12.66	492,768	61.53	206,677	25.81	800,825
香川県	138,597	13.63	627,450	61.72	250,493	24.64	1,016,540
愛媛県	192,281	13.13	898,274	61.34	373,752	25.52	1,464,307
高知県	96,670	12.44	465,473	59.90	214,937	27.66	777,080
福岡県	700,506	13.92	3,250,085	64.59	1,081,279	21.49	5,031,870
佐賀県	126,918	14.72	530,410	61.52	204,828	23.76	862,156
長崎県	201,805	13.84	890,297	61.05	366,302	25.12	1,458,404
熊本県	256,380	13.94	1,124,697	61.15	458,232	24.91	1,839,309
大分県	160,699	13.27	738,533	60.98	311,810	25.75	1,211,042
宮崎県	163,656	14.16	703,846	60.89	288,342	24.95	1,155,844
鹿児島県	239,725	13.87	1,039,453	60.13	449,376	26.00	1,728,554
沖縄県	252,183	18.04	908,653	65.01	236,976	16.95	1,397,812
合 計	17,205,567	13.54	81,650,386	64.25	28,220,227	22.21	127,076,180

※数値は、東京都及び大阪府における年齢不詳者3名を含んでいない。

3 世帯数

- 全国の世帯数は、5,287万7,802世帯
- 世帯数は、調査開始(昭和43年～)以来毎年増加(55万2,925世帯増)
- 1世帯の平均構成人員は、2.40人と調査開始以来毎年減少

平成21年3月31日現在の世帯数は、5,287万7,802世帯で前年(5,232万4,877世帯)に比べ55万2,925世帯、1.06%の増加になっている。1世帯平均構成人員は、2.40人(前年2.43人)となり、住民基本台帳制度の発足(昭和43年3月調査時は1世帯平均3.76人)以来毎年減少している。

1世帯の平均構成人員を都道府県別にみると、最も多いのは福井県(3.00人)で、次いで、山形県(2.99人)、以下、富山県(2.86人)、新潟県(2.85人)、岐阜県(2.83人)の順で続いている。また、最も少ないのは、東京都(2.01人)で、次いで、北海道(2.10人)、鹿児島県(2.21人)、高知県(2.24人)、大阪府(2.25人)の順で続いている(第3表・第21表・第22表参照)。

第21表 1世帯の構成人員の多い都道府県、少ない都道府県

1世帯の構成人員の多い都道府県

順位	都道府県名	1世帯の平均 人
1	福井県	3.00
2	山形県	2.99
3	富山県	2.86
4	新潟県	2.85
5	岐阜県	2.83
6	佐賀県	2.80
7	福島県	2.77
8	滋賀県	2.75
9	岩手県	2.71
10	茨城県	2.69

1世帯の構成人員の少ない都道府県

順位	都道府県名	1世帯の平均 人
1	東京都	2.01
2	北海道	2.10
3	鹿児島県	2.21
4	高知県	2.24
5	大阪府	2.25
6	神奈川県	2.28
7	山口県	2.30
8	京都府	2.31
9	宮崎県	2.33
10	愛媛県	2.34

第22表 世帯数等の推移

区分	世帯数 (世帯)	対前年増加数 (世帯)	対前年増加率 (%)	1世帯平均構 成人員(人)
昭和43年	27,115,293			3.76
44	28,205,976	1,090,683	4.02	3.62
45	29,146,288	940,312	3.33	3.55
46	30,027,454	881,166	3.02	3.48
47	30,853,005	825,551	2.75	3.43
48	31,907,782	1,054,777	3.42	3.39
49	32,627,792	720,010	2.26	3.36
50	33,310,006	682,214	2.09	3.33
51	33,911,052	601,046	1.80	3.31
52	34,380,314	469,262	1.38	3.29
53	34,858,696	478,382	1.39	3.28
54	35,350,173	491,477	1.41	3.26
55	35,830,857	480,684	1.36	3.24
56	36,346,662	515,805	1.44	3.22
57	36,858,900	512,238	1.41	3.20
58	37,425,866	566,966	1.54	3.17
59	37,934,575	508,709	1.36	3.15
60	38,457,479	522,904	1.38	3.12
61	38,987,773	530,294	1.38	3.10
62	39,536,307	548,534	1.41	3.07
63	40,025,087	488,780	1.24	3.04
平成元年	40,561,404	536,317	1.34	3.02

区分	世帯数 (世帯)	対前年増加数 (世帯)	対前年増加率 (%)	1世帯平均構 成人員(人)
平成2年	41,156,485	595,081	1.47	2.98
3	41,797,445	640,960	1.56	2.95
4	42,457,975	660,530	1.58	2.91
5	43,077,126	619,151	1.46	2.88
6	43,665,843	588,717	1.37	2.85
7	44,235,735	569,892	1.31	2.82
8	44,830,961	595,226	1.35	2.79
9	45,498,173	667,212	1.49	2.75
10	46,156,796	658,623	1.45	2.72
11	46,811,712	654,916	1.42	2.69
12	47,419,905	608,193	1.30	2.66
13	48,015,251	595,346	1.26	2.63
14	48,637,789	622,538	1.30	2.60
15	49,260,791	623,002	1.28	2.57
16	49,837,731	576,940	1.17	2.54
17	50,382,081	544,350	1.09	2.52
(17)	(50,456,015)	(618,284)	(1.24)	(2.52)
18	51,102,005	645,990	1.28	2.49
19	51,713,048	611,043	1.20	2.46
20	52,324,877	611,829	1.18	2.43
21	52,877,802	552,925	1.06	2.40

注) 平成17年世帯数の()書きは、平成18年人口統計調査から転出者の取扱いを統一したことに伴い、同様の方法による数値を記載したものである。